

経過(林野庁・北海道)

① H17(2005)～H19(2007)
 ・河川工作物WGでは、遺産地域内の河川工作物について、影響評価を実施し、5河川13基の河川工作物について改良が適当であり、改良後は効果検証を実施することが望ましいとの提言がなされた。



改良前の工作物（抜粋）



林野庁 イフウベツ川

北海道 チエンベツ川、サシルイ川

② H18(2006)～H24(2012)
 ・林野庁、北海道等は改良に着手しH24(2012)年度に改良を終え、各機関は改良後の3年間について遡上、産卵床数のモニタリングを実施した。



これらのモニタリング結果から、河川工作物アドバイザー会議委員の中から河川工作物ワーキングチームを組織し、「知床世界自然遺産地域内で改良した河川工作物の評価」を実施した。

H25(2013)3月「知床世界自然遺産地域内で改良した河川工作物の評価」

③ H25(2013)～H26(2014)
 ・林野庁、北海道は改良による効果があるか検証するためモニタリングを実施（河川工作物改良効果検証事業）



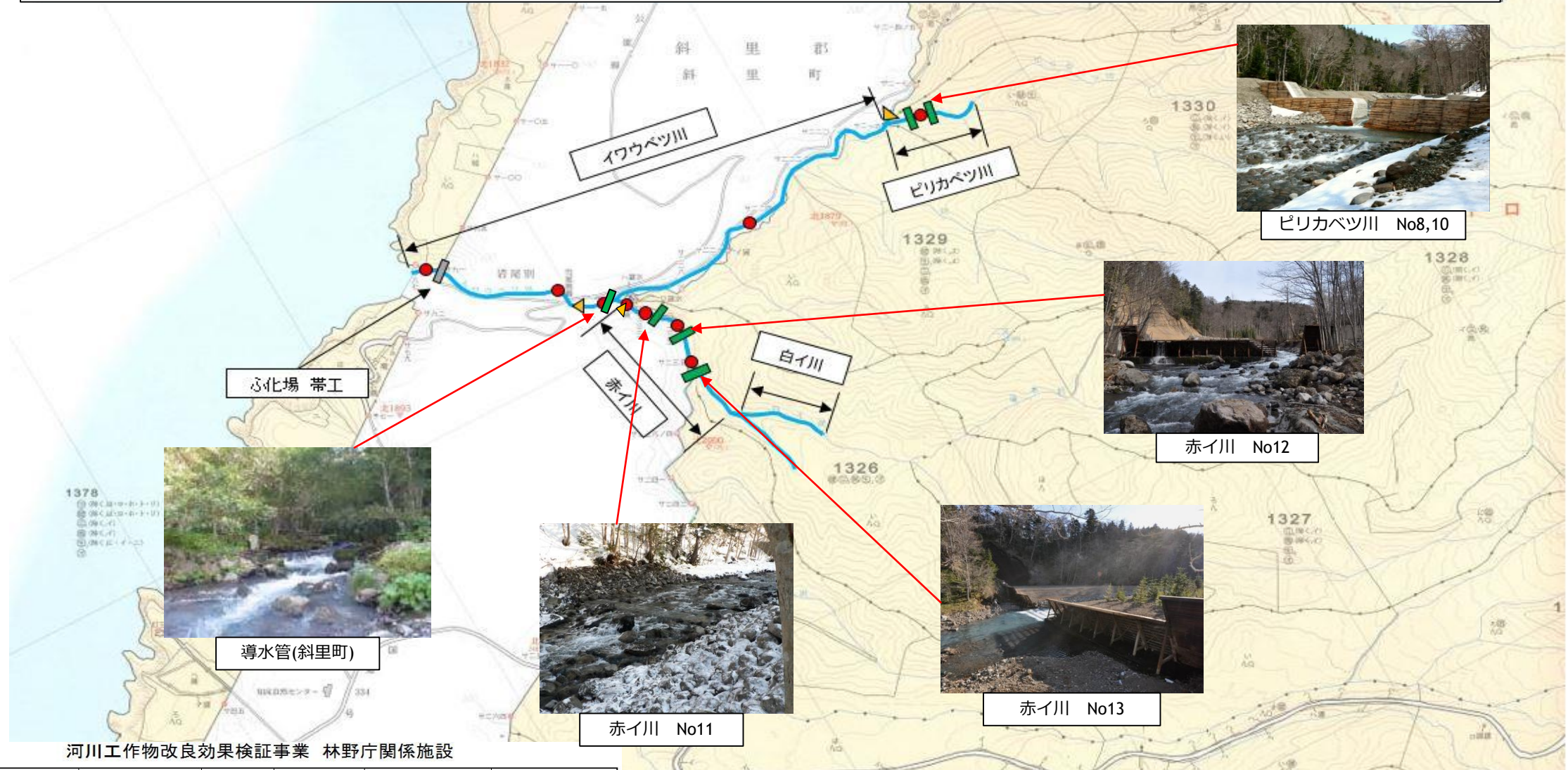
改良効果検証の結果について

- ・サケ類の遡上→遡上数は少ないながらも、改良ダム上流部まで確認できた。（林野庁）
- ・河床変動→赤イ川では一部の区間で河床低下が確認された。など（林野庁）
- ・改良効果が維持又は継続されていると考えられる。（北海道）

④ H25(2013).1.31 第2回河川AP会議
 ・上記③のモニタリング調査については、さらに5年後のH31(2019),H32(2020)にも実施するという提案を行う。



H31(2019)年度より「河川工作物改良効果検証事業」を実施する予定

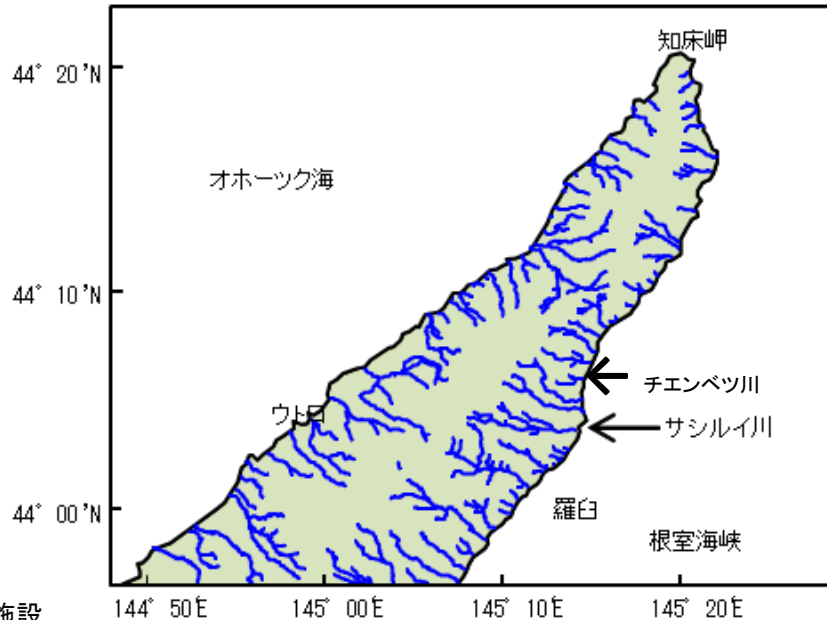


河川	実施主体	工種	設置年	改良年	前回調査(2013-2014)実施主体	今回調査(2019-2020)実施主体
赤イ川	斜里町	導水管	1980	2008	林野庁	林野庁(予定)
	林野庁	No11 治山ダム	1971	2006		
	林野庁	No12 治山ダム	1980	2009		
	林野庁	No13 治山ダム	1984	2010		
ピリカベツ川	林野庁	No8 治山ダム	1991	2007		
	林野庁	No10 治山ダム	1992	2007		

調査項目	
1	サケ科魚類の遡上・産卵状況調査
2	河川形状調査
	礫構成
	水位・流量
3	野生動物の把握
4	定点撮影

河川名	縦横断延長 m	遡上調査延長 m
イウベツ	3,080.0	2,960.0
ピリカベツ	230.0	500.0
赤イ川	580.0	580.0
白イ川	500.0	500.0
計	4,390.0	4,540.0

凡例	
河川工作物	■
定点撮影箇所	●
流量観測箇所	▲



北海道関係施設

河川	実施主体	行程	設置年	改良年	前回調査	今回調査
チエンベツ川	北海道	第1ダム	1987	2008	北海道	北海道 (予定)
	北海道	第2ダム	1967	2009		
サシルイ川	北海道	第1ダム	1972	2007 (2010一部再改良)		
	北海道	第2ダム	1969	2007 (2010一部再改良)		

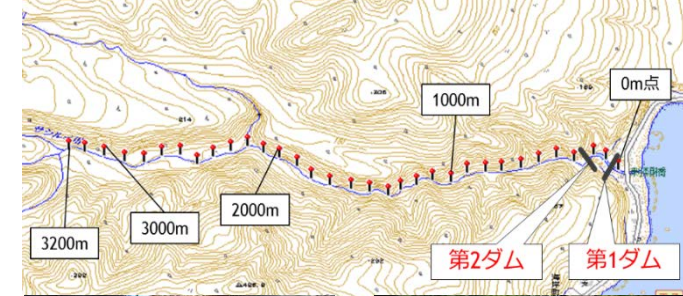
チエンベツ川の位置及び河川内に設定した調査区の境界



チエンベツ川第1ダム

チエンベツ川第2ダム

サシルイ川位置及び河川内に設定した調査区の境界



サシルイ川第1ダム

サシルイ川第2ダム

モニタリング調査により

改良効果が維持又は継続されていると考えられたもの

	H25年(2013)調査	H26年(2014)調査
チエンベツ川	○	○
サシルイ川	○	○